

スタッド溶接分野で、 トータル視点から 最適なソリューションを提供する

アジア技研 株式会社

スタッド溶接ロボット



数種類のスタッドを正確な位置へ自動的に溶接

専用スタッドから溶接機まで、一貫して供給する スタッド溶接機メーカー

スタッド溶接は、薄い金属の板にスタッドと呼ばれるボルトやねじを、専用機械を用い、穴をあけずに1000分の1秒という極めて短時間で取り付けることができる溶接システムである。現在は、造船の船内艀装をはじめ自動販売機、自動車やごみ焼却ボイラーなど、様々な用途で使われている。

アジア技研は、このスタッド溶接業界の中でスタッドから溶接ロボット、さらには溶接作業の請負業務まで、自社で一貫して手掛ける国内唯一のメーカーである。

自社でトータルシステムとして対応できる体制を構築したことにより、様々な対象物や特殊なスタッド、また曲面溶接などの顧客の個別課題に対し、トータルシステムとして最適な方法を提案・提供できることから、顧客から頼りがいのあるメーカーとして、高い評価を得ている。

企業概要

DATA

| | |
|------|-------------------------------|
| 企業名 | アジア技研 株式会社 |
| 代表者 | 溝口 純一 |
| 所在地 | 北九州市小倉北区西港町72-39 |
| TEL | 093-562-0170 |
| FAX | 093-562-0250 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 創業 | 1994年 |
| 従業員数 | 25名 |
| 事業内容 | スタッド溶接機、 スタッド溶接ロボット等の製造・販売 |
| URL | http://www.asiagiken.co.jp/ |

業界をリードするスタッド溶接ロボットの開発に成功

アジア技研が自信を持って開発した戦略商品の一つが、2010年秋に発売したスタッド溶接ロボット“ASRシリーズ”である。

この製品は、高性能溶接機を搭載し、業界で類を見ない直径10mmまでのスタッドを安定的に溶接できる。また、独自のアクチュエーターと高剛性の確保により、1,000mm/秒の高速稼働時においても、位置決め精度±0.2mm以下を実現している。さらにこのロボットは、従来のPLC制御に変え、ウィンドウズを基本ソフト(OS)にした独自の制御ソフトを搭載しており、顧客の工場内にあるパソコンとのネットワーク接続やインターネットに接続すれば、世界中どこにあっても遠隔操作や遠隔管理が可能なシステムとなっている。

このようにハード、ソフトともに同業他社の類似製品とは明らかに異なる新たな顧客価値の創出が図られており、顧客からの引き合いや注文が相次いでいる。

遠隔操作、遠隔管理によりお客様の トータルの生産性向上に貢献

このインターネット回線接続によるリモートアクセスを活用し、アジア技研では様々な技術サービスを提供している。

その一つは、お客様のプログラム入力時に活躍する遠隔助言サービスである。座標入力の順番の確認など、プログラミング時にお客様が不安に感じ問い合わせをしてきた内容に対し、アジア技研のパソコンからお客様の装置にリモートアクセスし、プログラム内容を確認、問題箇所を発見したり、手直しのアドバイスをリアルタイムで行っている。

またお客様の装置の稼働時におけるトラブルに対しても、瞬時にトラブル内容を確認し、アドバイスを行っている。

これにより顧客にとっては、スタッド溶接に関連する様々な業務の大幅な生産性向上、そしてコストダウンが図れていることは想像に難くない。

世界初のマグネシウム合金用 スタッド溶接ロボットを開発

ノートパソコンや携帯電話の薄型化、自動車部品の軽



代表取締役
溝口 純一 氏
1994年、アジア技研を設立。スタッド溶接や工業用ファスナーの製造販売に特化し、「市場をリードする技術開発力を追求し、未来に貢献する」等3つの企業理念のもと、「従業員の幸せ=お客様の幸せ」を目指し、全社オープンかつ一丸となった経営を実践している。今後は海外にもさらに販売網を確立し、日本企業の誇りを持って永久的な企業継続に向けて邁進する。

量化などのために多用され始めた金属に、マグネシウム合金がある。マグネシウムは融点が650℃と低く、酸化しやすく表面張力がないことなどから、大気中での溶接は困難とされてきた。

アジア技研は、リニアモーターなどの機械的システムと制御ソフトウェア、また専用スタッドの開発などにより、この溶接概念を覆し、10,000分の1秒というまさに瞬間的かつ高信頼度で溶接する装置の開発に成功、これにより2007年には経済産業省主催の『ものづくり日本大賞』優秀賞を受賞している。

すでにノートパソコンなど軽量化が要求される用途での採用が進んでおり、これからは、特に今後普及が進むと見られる電気自動車への採用が期待されている。



自社製造する主なスタッド

マーケティング 専門家 の目

アジア技研は、スタッドから溶接機、またロボットまで、スタッド溶接に関する一切を自社で対応しうる唯一のメーカーであり、これによりトータルの視点から顧客に対し最適なシステムを提供でき、顧客にとってはスタッド溶接に関する問題や課題を何でも相談できる頼もしい存在として、オンリーワンの地位を獲得している。

このトータルソリューションの力は、ものづくり日本大賞を受賞した“マグネシウム合金用スタッド溶接ロボット”にもいかに発揮され、今後のさらなる飛躍が期待される。